

二宮町第 2 次環境基本計画
後期実施計画（令和元年度）の進捗状況について
（案）

令和 2 年 12 月

二 宮 町

目次

I	二宮町第2次環境基本計画について	1
1.	計画期間	1
2.	基本理念	1
II	施策体系	2
III	評価方法について	3
1.	評価方法	3
IV	基本目標別進捗状況及び評価	4
1.	生物多様性の保全	
	多様な緑と水による自然の恵みが豊かなまち	4
2.	循環型社会の実現	
	環境にやさしい循環型のまち	5
3.	低炭素社会の形成	
	地球環境の保全に取り組むまち	5・6
V	令和元年度進捗状況等に対する二宮町環境審議会の意見	7
	<はじめに>	7
	<令和元年度全体評価>	7
	<基本目標別意見>	7
	1. 生物多様性の保全について	7
	2. 循環型社会の実現について	7
	3. 低炭素社会の形成について	7
資料	二宮町第2次環境基本計画後期実施計画 (令和元年度進捗状況一覧)	8

I 二宮町第2次環境基本計画について

1. 計画期間

環境基本計画の計画期間は、平成24年度～平成34年度(令和4年度)とし、本計画に基づく実施計画の期間は次のとおりです。

なお、令和元年度については、後期実施計画の初年度となります。

計画期間区分		対象期間
第2次 環境基本計画	前期実施計画	平成24年度～平成27年度
	中期実施計画	平成28年度～平成30年度
	後期実施計画	令和元年度～令和4年度

2. 基本理念

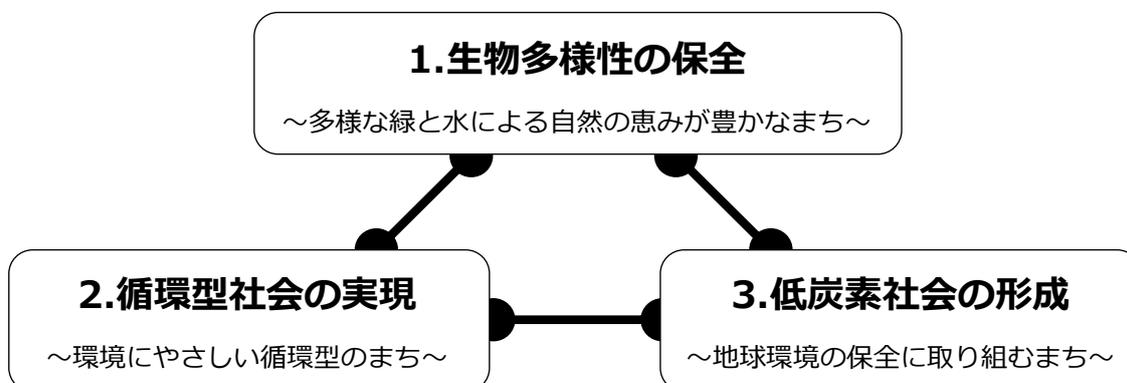
『のこしたい・つたえていきたい・ふるさとを

～里山・里地・里川・里海と暮らすまち へのみや～』

環境基本計画では、「自然からの恩恵だけでなく、自然災害など自然の力も含め、人と自然が共生する環境のまち(ふるさと)をめざし、二宮町が有する豊かな自然環境を大切に育むことを通じて、まちへの愛着を育む」ことを基本理念としています。

この基本理念を実現するため、3つの骨太の柱となる基本目標を設定し、二宮町の自然・社会環境を生かしながら、将来に残したい環境の保全や創出に向けて、町民・事業者・町が一体となって取り組んでいきます。

基本目標(3つの骨太の柱)



*1～3は、相互に関連しています。

Ⅱ 施策体系について

二宮町第2次環境基本計画後期実施計画（令和元年度～令和4年度）では、環境基本計画で立てた骨太の柱となる3つの目標に、14の基本施策を設定し、それらを実現するため53の事業を設定しました。

基本目標	基本施策	事業数	
1.生物多様性の保全 多様な緑と水による 自然の恵みが豊かなまち	1-1. 吾妻山の保全と魅力の向上	1	21
	1-2. 丘陵地や谷戸などの保全	6	
	1-3. 水と親しめる葛川の再生	6	
	1-4. 二宮海岸の保全と魅力の向上	6	
	1-5. 良好な自然を象徴する動植物の保全	2	
2.循環型社会の実現 環境にやさしい循環型のまち	2-1. リデュースの促進(ごみの発生や排出の抑制)	5	17
	2-2. リユースやリサイクルの促進	3	
	2-3. ごみの適正な処理・処分の推進	5	
	2-4. 不法投棄防止の推進	2	
	2-5. 地産地消の促進	2	
3.低炭素社会の形成 地球環境の保全に取り組むまち	3-1(2). 省資源・省エネルギー活動の促進 自然エネルギーの活用	6	15
	3-3. 緑化や雨水利用などによる環境の保全	3	
	3-4. 環境保全による安全なまちづくり	3	
	3-5. 快適な生活環境の向上	3	
総事業数		53	

Ⅲ 評価方法について

1. 評価方法

後期実施計画は、基本目標ごとに重点事業を設け、重点事業の進捗管理を行うことで、基本目標の効果を把握しやすくしました。

また、各事業の評価方法についても一定の基準で評価できるよう、「達成状況評価」と「事業内容評価」の合計を5段階で評価する方法に変更したことにより、それぞれの事業において、一貫した評価を行えるようにしました。

《後期実施計画における評価》

評価指標	
A	【達成状況評価】 + 【事業内容評価】 = 【達成率 100%】
B	【達成状況評価】 + 【事業内容評価】 = 【達成率 75-99%】
C	【達成状況評価】 + 【事業内容評価】 = 【達成率 50-74%】
D	【達成状況評価】 + 【事業内容評価】 = 【達成率 25-49%】
E	【達成状況評価】 + 【事業内容評価】 = 【達成率 0-24%】

《参考》

中期実施計画の評価方法は、全事業の達成状況を4段階評価指標で評価していました。

《中期実施計画における評価指標及び評価点数》

評価指標		評価点数
A	事業の目的を達成できた、または同等の成果が得られた。	3点
B	計画通り実施し、一定の成果が得られた。	2点
C	計画通り実施できず、ほとんど成果が得られなかった。	1点
D	計画未実施	0点

※評価方法の見直しにより、中期実施計画と後期実施計画の評価指標の比較方法が違うことから、本評価(令和元年度)と前年度(平成30年度)評価について、点数による比較はできません。

IV 基本目標別進捗状況及び評価

1. 生物多様性の保全 ～多様な緑と水による自然の恵みが豊かなまち～

「生物多様性の保全」については、里山・里地・里川・里海という多様性に富む豊かな自然を大切に保全し育むとともに、自然と人間が生活の様々な場面で共生することを目指し、事業の推進に取り組みました。

本基本目標の重点事業評価については、次のとおりです。

事業コード	重点事業	評価	
1-2-①	里山再生育成事業	—	—
1-3-④	葛川水質調査の実施	B	87%
1-4-④	湘南にのみや海岸 530 キャンペーンの実施	B	89%

【里山再生育成事業】

里山や里地における自然環境保全の大切さをより広めていくための体験型イベントとして、例年、田植え体験、稲刈り体験、椎茸植菌教室を実施しながら、里山づくり推進協議会の協力のもと、椎茸の原木切りだしをはじめ、里山の保全管理や会議を通して連携強化を図ってきましたが、令和元年度において、「田植え体験」については例年どおり町内の幼稚園・保育園児を対象に実施できたものの、実施を予定していた「稲刈り体験」は台風により農作物が被害を受けたことから中止となり、また、「椎茸植菌教室」についても新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となりました。

不測の事態によりイベントが中止となり、評価の数値指標となる参加者数が減ったため、本事業の達成状況は評価に適さないことから、評価非該当とします。

【葛川水質調査の実施】

家庭や事業所の排水による水質汚濁の未然防止を図るため、年4回の河川水質調査を行い、その測定結果を町ホームページで公表するとともに、ボランティア団体による葛川の清掃や生息生物の調査を行った結果、水質階級で最上位にあたるⅠの生物が4種確認されるなど、里川である葛川の美化推進が図られました。

しかし、水質調査の結果では、一部、環境基準値を超過する結果が出たことから、本事業の評価は「B」とし、今後、啓発面等においてより工夫しながら事業を推進する必要があります。

【湘南にのみや海岸 530（ごみゼロ）キャンペーン】

海岸保全活動の意識高揚や環境づくりを目的として、令和元年度は前年度よりも多くの方にご参加いただきましたが、事業内容評価において、実施内容がマンネリ化・パターン化しているという事業結果を踏まえた改善がなされていないため、本事業の評価は「B」とし、今後の事業展開については再考する必要があります。

2. 循環型社会の実現 ～環境にやさしい循環型のまち～

「循環型社会の実現」については、ごみの減量化や資源化等を推進するとともに、生産・流通・消費の循環を町内で形成していくことを目指し、事業の推進に取り組みました。

本基本目標の重点事業評価については、次のとおりです。

事業コード	重点事業	評価	
2-3-①	二宮町一般廃棄物処理基本計画の推進	D	25%

【二宮町一般廃棄物処理基本計画の推進】

循環型社会の実現を図るため、「二宮町一般廃棄物処理基本計画」に基づく各種施策を推進し、ごみの減量化や資源化等に努めてまいりましたが、「減量化」については、1人1日あたりのごみ総排出量の目標値 816g に対して実績値 834g、「資源化」については、資源化率の目標値 34.5%に対して実績値 34.02%、「最終処分量の削減」については、埋立量の目標値 81t に対して実績値 84t と、いずれも目標値と実績値の差はわずかですが、本事業の評価は「D」とし、今後、より積極的かつ効率的・効果的な啓発を図っていく必要があります。

3. 低炭素社会の形成 ～地球環境の保全に取り組むまち～

「低炭素社会の形成」については、地球全体の持続可能な社会を実現するための課題である二酸化炭素排出量の削減を目指し、省資源・省エネルギー活動の促進や環境保全の啓発に取り組みました。

本基本目標の重点事業評価点数については、次のとおりです。

事業コード	重点事業	評価	
3-1(2)-①	地球温暖化防止運動の推進	B	92%

【地球温暖化防止運動の推進】

環境活動団体等との連携・協力のもと、ふるさとまつりやエコフェスタなどの町内

イベント、あるいは広報紙はホームページ等を通じて、地球温暖化防止に関する普及啓発を積極的に行いました。また、ふるさとまつりで来場者に実施した「マイエコ 10 宣言*」のアンケート調査の結果については、温暖化対策実行率が目標値には届かなかったものの、意識付けにつながったことから、本事業の評価は「B」とし、今後はより多くのサンプル数を得られるよう工夫する必要があります。

*「マイエコ 10 宣言」は、神奈川県が実施している取り組みです。地球環境問題を自分ごととして捉え、解決するための行動を、10 の項目、90 の行動メニューとしてとりまとめたもので、90 の行動メニューから 16 個の環境にやさしい取組みを抽出したアンケートを作成し、その中から 10 個の項目について「実施を宣言」し、その内「すでに実施している」項目を回答するものです。

《参考》

重点事業の評価

基本目標	重点事業	評価	
1.生物多様性の保全 多様な緑と水による自然の恵みが 豊かなまち	2-1.里山再生育成事業	-	
	3-4.葛川水質調査の実施	B	87%
	4-4.湘南にのみや海岸 530 キャンペーンの実施	B	89%
2.循環型社会の実現 環境にやさしい循環型のまち	3-1.二宮町一般廃棄物処理基本計画の推進	D	25%
3.低炭素社会の形成 地球環境の保全に取り組むまち	1(2)-1.地球温暖化防止運動の推進	B	92%
事業数 計	5		

V 令和元年度進捗状況等に対する二宮町環境審議会の意見

(令和2年 月 日)

<はじめに>

二宮町環境審議会では、「二宮町第2次環境基本計画後期実施計画」の令和元年度における進捗状況について審議し、以下のとおり意見を取りまとめましたので、今後の計画の推進にあたっては、当審議会意見に配慮され、改善に取り組んでください。

<令和元年度全体評価>

<基本目標別意見>

1. 生物多様性の保全について

- ①
- ②

2. 循環型社会の実現について

- ①
- ②

3. 低炭素社会の形成について

- ①
- ②